

島根大学国際センター

■国際センター長 挨拶

青 晴 海

島根大学国際センターは、その前身である1998年開設の『留学生センター』の成果を引き継ぎ、2007年より『国際交流センター』として国際交流事業を推進してきました。近年では多くの関係者のご協力を得て、年間約300名にのぼる学生の海外派遣や、200名以上の留学生受け入れの実績を上げています。一方で、このような派遣学生や留学生増加による学内のグローバル化に伴い、地域のグローバル化との連携事業、更にはSDGs実現に向けた大学の役割の再検討など、本学は新たな課題に取り組む必要性に迫られてきました。

そこで、本学は、令和3年4月より『国際交流センター』から『国際センター』へと名称を変更し、新たな組織として出発致しました。本センターは、島根大学の国際化に関する戦略を全学的視点から検討し、積極的に国際連携の促進を図ることを目的としています。これを実現するため、国際センターは、①国際社会で求められる人材育成とグローバル化する社会の中での地域や海外との結節点となるグローバルな感性を持った人材の育成、②グローバル教育の環境を整備するため国内外の大学等と連携した教育・研究活動の推進、更には、③地域における知の拠点として地域と大学の強みを活かし持続性に配慮した国際化の推進、という3つの役割を担っていきます。

島根大学の国際交流事業に、引き続きご理解とご協力をお願い致します。

■国際センターの業務

諸外国との相互理解を推進し、友好関係を深めながら、安定した国際関係の基礎を築いていくことが極めて重要な課題となっています。このような状況下で、本国際センターは関係機関と連携して次の業務を推進しています。

1. 国際交流に係る企画・立案及び実施に関すること。
2. 外国の大学との交流協定の締結及び交流推進に関すること。
3. 留学生及び派遣留学生に対する修学上及び生活上の支援活動に関すること。
4. 国際交流及び留学生教育等に係る調査研究及び情報収集に関すること。
5. 国際交流会館の運営に関すること。
6. 地域における留学生交流の推進に関すること。
7. その他センターの目的を達成するために必要な業務

■国際交流戦略の重点項目

1. 協定校との連携強化
2. 教職員・学生の英語力強化戦略
3. 海外への研究者・学生の派遣留学の拡大
4. 海外の研究者・留学生受入れ体制の強化